

2019年度 審判員技術向上講習会

11月2日(土)、公益財団法人愛知県サッカー協会審判委員会より講師として山本インストラクターならびに小椋インストラクターを迎え、瀬戸市体育館第1会議室にて『2019年度 審判員技術向上講習会』を実施いたしました。

講習会は、瀬戸市サッカー協会の加盟チームより32名の審判員の方々が受講し、2019年度に改正された「2019/20競技規則」におけるポイントについて映像を交えて解説していただきました。

【講習会の概要】

1. 競技規則改正(2019/20)におけるポイント
2. 質疑応答(ディスカッション形式)



講師の山本インストラクタ(左)と小椋インストラクター(右)

また、後半の「質疑応答」では、「2019/20競技規則」の改正内容から”ドロップボール”について具体的なケースや”相手を抑える”などの「ファウルの基準」、ルールとは違いますが大会運営における「審判のあり方」など受講者からの多くの質問や疑問を、時にはディスカッション方式で質問者に意見を求めるなど講師の山本インストラクターと小椋インストラクターより丁寧に回答いただき、更に小椋インストラクターからは”1級審判員”としてJリーグでレフリーを行った際の面白いエピソードをいただき、大変充実した講習会となりました。

なお、この講習会は、審判員技術向上を図るため瀬戸市サッカー協会が愛知県サッカー協会審判委員会さまに依頼し実現したもので、今年度で5回目です。

今後も瀬戸市サッカー協会審判部は『審判員の技術向上を目指し』講習会を開催していきたいと思っております。



講義を聴く受講者